

○の選手が  の斜線までドリブルで目指すのに①と②のコースをとる選手が多いです。このコースを抜けていくドリブルができることはすごくすごいことだから自信を持って良いと子ども達にも伝えています。

でも、相手に触られるリスクが大きくなりますし、A、BをかわしてCの選手をかわすのに時間がかかってしまい、E、Dの選手が戻ってきてしまい追いつかれるというシーンが多くみられました。

③のコースを選ぶと早くゴールに辿り着けるとわかってるのですが、プレーに出すことは難しかったようです。

この全てのコースを状況によって使い分けられるようになってほしいです。

